

自己評価検証委員会
地質調査総合センター分科会 議事要旨

1. 日時： 令和4年3月17日（木） 13時00分～17時25分
2. 場所： オンライン会議（Teams）
3. 議事概要

(1) 地質調査総合センターの研究マネジメント、研究戦略

地質調査総合センター長 中尾 信典

- 資料に基づき、領域の研究マネジメント、戦略、本年度の主な研究成果が説明された。その後、組織の研究体制や水文環境図の作成について質疑応答を行った。

(2) 産総研の総合力を生かした社会課題の解決

- 環境保全と開発・利用の調和を実現する環境評価・修復・管理技術の開発

環境調和型産業技術研究ラボ長 光畑 裕司

- 強靱な国土と社会の構築に資する地質情報の整備と地質の評価

活断層・火山研究部門長 伊藤 順一

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、課題「強靱な国土と社会の構築に資する地質情報の整備と地質の評価」の成果達成度を水準以上とした根拠や、土壌中の金属汚染への対応に関する成果の重要性などについて質疑応答を行った。

(3) 経済成長・産業競争力の強化に向けた橋渡しの拡充

- 産業利用に資する地圏の評価

地圏資源環境研究部門長 今泉 博之

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、メタンハイドレートの調査範囲や PVA ローラー電極を用いた地質調査技術の開発状況などについて質疑応答を行った。

(4) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

- 土壌汚染等評価・措置に関する各種試験方法の標準化

地圏資源環境研究部門長 今泉 博之

- 地質調査のナショナルセンターとしての地質情報の整備

地質情報研究部門長 荒井 晃作

- 地質情報の管理と社会への活用促進

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、シームレス地質図の活用方法などについて、質疑応答を行った。

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 主査からの講評

- 主査から講評が行われた。研究領域の今年度の研究活動とともに、アウトリーチ活動への注力を評価すること、今後の中長期目標の達成を期待していること、などについて言及があった。

4. 分科会委員（敬称略、委員五十音順）

小嶋 智	岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授	（分科会主査）
三瓶 良和	島根大学 総合理工学部 教授	
山中 佳子	名古屋大学 大学院 環境学研究科附属 地震火山研究センター 准教授	

5. 配布資料

- 資料1－1) 資料一覧
- 資料1－2) 議事次第
- 資料1－3) 分科会出席予定者
- 資料1－4) コメントシート
- 資料2－1) 自己評価書コンテンツ
- 資料2－2) 要点資料
- 資料2－3) 説明資料

以上